

## 第6学年3組 算数科学習指導案

場所 6年3組教室

1 単元 分数÷分数 (本時3/11)

2 本時の目標

(1) 分数でわる計算の仕方をチームの子たちに伝わるように説明できる。 (思考・判断・表現)

(2) 分数でわる計算の仕方を進んで考えたり，説明したりしようとすることができる。

(主体的に学習に取り組む態度)

3 課題を追究するための手だて

(1) 学習を見通しやすくするために，既習事項をまとめた資料を提示する。

(2) 安心して計算の仕方を考えられるように，同じ計算の仕方を選んだ子たちでチームを組む。

4 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (3)	1 前時で学習した内容を確認する。 ・わる数を1にするために，わられる数とわる数に3をかけたよ。 ・3分の1でわるのは3倍と同じ意味だね。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習で使用した計算の仕方を示した式や図を提示する。</li> <li>・前時で学習した計算の仕方を説明できそうな児童を指名する。</li> <li>・学習課題を板書する。</li> </ul>
課題 (2)	2 学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">わる数の分子が1ではない時の計算の仕方を説明しよう</div>	
展開 (35)	3 課題に対する見通しをもつ。 ・「ぬれる面積÷ペンキの量=1dLでぬれる面積」だったね。 ・整数でわる形にできれば解けそうだね。 ・わる数が1になるように考えた方が説明しやすそうだな。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>ペンキ1dLでぬれる面積を求める求め方やわる数をどのようにして計算したかを児童に尋ねたり，方法を提示したりする。</u></li> <li>・自分が説明する方法を選ぶために，ひなたさん，だいちさんのどちらの計算の仕方が考えやすいか尋ね，挙手を求める。</li> <li>・授業の後半で，自分が選んだ計算の仕方をチームのみんなに説明することを伝える。</li> <li>・<u>チームに同じ計算の仕方を選んだ児童がいない場合は，チームを再編成し，頼れる児童がいる状況を作る。</u></li> <li>・説明が難しそうな児童には，考えられたところまでを称賛し，この後の道筋が立てられるように，チームに協力を依頼する。</li> <li>・進んで説明しようとする児童を称賛する。</li> <li>・本時の振り返り(行動と学習内容)を書くように指示する。</li> <li>・前時と似ている考え方はあったかどうか問う。</li> </ul>
整理 (5)	4 考えをまとめ，説明の練習をする。 ・ひなたさんはなぜわられる数とわる数に3をかけたのだろう。 ・わる数を1にしたほうが，計算が分かりやすいそうだ。	
	5 チームで計算の仕方を説明する。 ・わる数を1にするために，逆数をかけるという説明が分かりやすいね。	
	6 全体で解き方の確認をする。	
	7 振り返りを行う。 ・自分からチームの子に質問できた。 ・どちらのやりかたでも，最後は同じ式になることが分かったよ。	

5 評価

(1) わる数をどのようにしたら計算しやすいかを明らかにし，計算の仕方を説明している。

(活動4・5の様子やノートから)

(2) 自分が考えた解き方や分かったところまでをチームに説明しようとしている。

(活動4・5の様子から)